キャラクター名
三崎 佑（ﾐｻｷ ﾕｳ）

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン エンジェルハィロゥ	ワークス	何でも屋	カヴァー	会社員
オプショナル		年齢	40	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	恐怖	初期侵食率	34 %
出自	安定した家庭	経験	喪失	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	3	0	0			3
精神	4	0	0			4
社会	1	0	0			1

HP	26
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	15
全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0	-			

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：手配師	
コネ：UGN幹部	
ウェポンケース	
ウェポンケース	
ウェポンケース	
思い出の一品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
親戚	P 誠意	N 恐怖		
神城早月	P 連帯感	N 悔悟		
獣たちの旋律<アーニマリア・フェローチェ>	P 尽力	N 嫌悪		
神守永依	P 信頼	N 不安		
ユスティナ	P 庇護	N 不安		
ピオニー	P 有為	N 不信感		
	P	N		

最大財産P: 8	残り財産P： 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
戦術	3	6	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	視界	ｼｰﾝ(選択)	-	-	
効果：自分以外の対象のダイス+[Lv個]								
コンセ：ノイマン	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	-	-	
効果：クリティカル値を-[LV]								
マルチウェポン	1	3	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	射撃	-	
効果：同技能武器の攻撃力を2つ合計して使用。								
ヴァリアブルウェポン	1	3	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	射撃	-	
効果：攻撃・技能と同じ武器[Lv個]選択し、+[選択した武器の攻撃力]								
ラストアクション	1	5	ｵｰﾄ	至近	自身	自動	100	
効果：戦闘不能時メインプロセス。1ｼﾅﾘｵ/1回								
天からの眼	3	2	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ	-	-	射撃	-	
効果：組み合わせたエフェクトの判定ダイス[+Lv個]								
マスヴィジョン	3	4	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	100	
効果：攻撃力:+[LV×5]1ｼﾅﾘｵ/3回								
代謝制御	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：起床終身、体調を自在にコントロール可能。アラーム要らず								
猟犬の鼻	1	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動	-	
効果：においの粒子や細菌、ウィルス、粉じんなどを見分ける								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

ダブルクロス the3rd Edition「The THIRD Neighbor」
PC4：陰から少年少女を支えるイリーガル

【プロフィール】
・一人称：私
・二人称
　- 基本：あなた、苗字さん
　- 親密：お前、名前

【略歴】
UGNへ協力するイリーガル。
表向きは現在UGNと協力関係にある関連会社に勤務する、目立たず細々とした会社員。
前職は貿易商社に勤めていたため、英語を話すことができる。
長年の勤務で染みついたクセなのか、会話はどのような相手にも礼儀正しい。悪く言えば低頭平身でどこか一線を引きたがる。
「はい。事務、アポイントメント、受発注処理……大抵の業務であれば……、……今回はレネゲイド関連事件……？
大変失礼いたしました。ええ、そちらも問題ございません。長年やっておりますから。どうぞよろしくお願いいたします。」

・オーヴァード覚醒前
オーヴァードとして覚醒する以前は、妻・子2名の４人家族で平穏に暮らしていたが
ある時の親戚・兄弟家族の集まりにて突如として襲撃事件が発生。事件の最中、覚醒する。
覚醒したにも関わらず血縁者数名を亡くしたこと、また異能力により今後自分の妻子が危険に巻き込まれることを恐れ、
手紙といくらかの養育費そして離婚届を残し消息を絶つ。